

令和6年7月18日

報道関係 各位

南方熊楠顕彰館
館長 松居 竜五

2024年度南方熊楠研究会夏期例会公開シンポジウムの開催について

平素は、南方熊楠翁顕彰事業にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、南方熊楠顕彰会では、下記のとおり、公開シンポジウムを開催しますので、報道方
よろしく願いいたします。

記

■2024年度南方熊楠研究会夏期例会公開シンポジウム

日 時：令和6年8月3日（土）13:30～17:15

会 場：田辺市文化交流センターたなべる2階大会議室

内 容：シンポジウムⅠ「紀伊教育会夏期講習と熊楠の拘置」

明治43（1910）年に南方熊楠は紀伊教育会の夏期講習会に乱入し、18日間の
入監を強いられる。後年、熊楠は自身の入監に関して大言壮語しているが、実
際にはどうだったのか。当時の社会背景や法的制度等からこの事件について
取り上げる。

シンポジウムⅡ「蟻のマンダラ」

南方熊楠が土宜法龍に送った書簡は、1902年3月の生死と霊魂に関する議論
と、1903年7～8月のいわゆる「南方マンダラ」に関する議論が大きな山とし
て知られてきた。京都の高山寺から新たに発見された「蟻のマンダラ」と呼ば
れる書簡は、この二つの山をつなぐミッシング・リンクとして注目されるもの
である。この新資料についての検討を行いたい。

定 員：60名

聴講料：無料

申込み：南方熊楠顕彰館（0739-26-9909）まで電話でお申し込みください。

※詳細は添付のチラシをご参照ください。

■連絡先

文化振興課 南方熊楠顕彰館

担当：崎山

TEL：0739-26-9909



2024 年度

南方熊楠研究会夏期例会 公開シンポジウム

会場

田辺市文化交流センターたなべる
2階大会議室

定員

60名（申込要・聴講無料）

※興味のあるプログラムのみの聴講も可能です。

2024.

8.3 (土)

13:30 ▶▶ 17:15

(13:30～15:30)



Ⅰ 「紀伊教育会夏期講習と熊楠の拘置」

明治43(1910)年に南方熊楠は紀伊教育会の夏期講習会に乱入し、18日間の入監を強いられる。後年、熊楠は自身の入監に関して大言壮語しているが、実際にはどうだったのか。本シンポジウムでは、当時の社会背景や法的制度等からこの事件について取り上げる。

- ・ 南方熊楠入監考－1910年夏、田辺－
武内善信（南方熊楠研究会会長）
- ・ 紀伊教育会とその第二回夏季講習会
千本英史（奈良女子大学名誉教授）
- ・ 田辺監獄の歴史と熊楠
辻晶子（大阪経済大学専任講師）
- ・ 明治四十三年南方熊楠被告事件の法的枠組み
岸本昌也（武蔵大学非常勤講師）

(15:45～17:15)



Ⅱ 「蟻のマンダラ」

南方熊楠がロンドンから帰国後に土宜法龍に送った書簡は、これまで1902年3月の生死と靈魂に関する議論と、1903年7～8月のいわゆる「南方マンダラ」に関する議論が大きな山として知られてきた。京都の高山寺から新たに発見された「蟻のマンダラ」と呼ばれる書簡は、この二つの山をつなぐミッシング・リンクとして注目されるものである。この新資料に関する検討をおこないたい。

- 末木文美士（東京大学・国際日本文化研究センター名誉教授）
- 奥山直司（高野山大学名誉教授）
- 小田龍哉（同志社大学非常勤講師）

参加
申込

南方熊楠顕彰館（南方熊楠研究会事務局）

TEL 0739-26-9909 E-mail minakata@mb.aikis.or.jp
FAX 0739-26-9913 URL <https://www.minakata.org>

